

第 57 回日本動脈硬化学会総会・学術集会を終えて



大会長挨拶（左：梶波 康二先生、右：島野仁先生）

第 57 回日本動脈硬化学会総会・学術集会は、「動脈硬化学の未来 Joy of fatty acid secrets」をテーマに、2025 年 7 月 5 日～6 日につくば国際会議場にて開催しました。また収録された教育講演等をオンデマンド配信として 8 月 31 日まで WEB 開催特別サイトにて公開致しました。

猛暑のなか、900 人（WEB 参加を含めると 1,401 人）の方々にご参加いただき、盛会裏に無事会を終えることができましたこと、関係の皆様

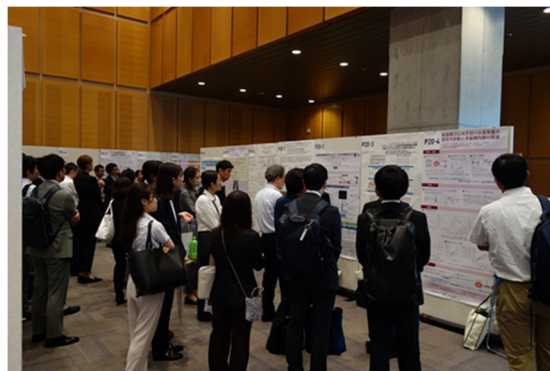
に改めて深く感謝申し上げます。

海外招聘公演（The 10th Shimamoto Takio Memorial Lecture）としては、University of California Los Angeles の P. Tontonoz 教授より「New Pathways in Lipid Metabolism」、University of Texas Southwestern Medical Center の J.D. Horton 教授より「Regulation of Fatty Acid Synthesis and Triglyceride Production in Insulin-resistant Livers」、Tufts University の E.J. Schaefer 教授より「Cardiovascular Disease Risk Prediction in the US Pooling Project」のタイトルで、それぞれご講演をいただきました。

本学術集会では、日本動脈硬化学会評議員の皆様より前もってご提案いただいたテーマから、プログラム委員会における経時的議論を経て選ばれた 27 のシンポジウム（5 つの他学会合同を含む）を中心に、2 つの国際シンポジウム（KSoLA-TSLA-JAS Joint symposium、



第 1 会場



ポスター会場



市民公開講座



AED 講習会

APSAVD-IAS-JAS Joint Symposium)、4つの委員会企画、3つのスポンサードシンポジウムなど、最新トピックから長年の課題まで、盛りだくさんのテーマが取り上げられ、活発な議論が行われました。またオンデマンドを含めた5つの教育講演や継続開催されている診断技術向上セミナー、さらには循環器予防療養指導士セミナーなど、教育企画も充実したものとなりました。一般演題は145題が採択され、高評価を受けた38題を口頭発表いただきました。

学会による学術業績の顕彰として、下門顕太郎博士（第42回大島賞）、島野仁博士（第26回日本動脈硬化学会賞）、堀江貴裕博士（第20回五島雄一郎賞）に、それぞれ受賞講演をいただきました。また穴倉大介博士には第33回若手研究者奨励賞最優秀賞が、竹治泰明先生と田中亨先生には同優秀賞が贈られました。高評価を受けた応募一般演題の中からは、江本拓央先生・荒木雅弥先生・角谷佳則先生・白水智大先生・尾松卓先生・藤沢直輝先生に、第3回若手優秀演題賞が贈られるとともに、第3回メディカルスタッフ賞が丸山篤芳先生に贈られました。学会初日夕刻には会員懇親会が開催され、外国からの招待者を含む多数の皆様が集う交流の場となり、face to faceの学会が開催できることの喜びと意義を再確認しました。

恒例の市民公開講座では開催地つくばに馴染みの深いオリンピック山口香先生から「スポーツを楽しむためのヒント」を、筑波大学部族病院栄養部の北久保佳織先生に「健康は食事から」を、それぞれご講演いただき、多数の市民が集う場となりました。引き続き筑波大学救急集中治療科井上貴昭先生のご尽力によりAED講習会を開催し、市民参加の裾野が広がる喜ばしい場となりました。

本総会・学術集会の開催にあたり、多大なご尽力を賜りました日本動脈硬化学会事務局の皆様、関連学会諸委員会の皆様、支援団体ならびに協賛企業の皆様、そして何よりもご参加いただき総会・学術集会を盛り上げてくださいました全ての皆様に心より感謝申し上げます。

本会が、日本動脈硬化学会の研究、臨床、教育、社会にむけて、新しい発信となりましたことを心より願っております。

第57回日本動脈硬化学会総会・学術集会会長

島野 仁

梶波 康二